

まほろば秦野通信

平成28年10月12日

秦野市市長公室広報課

タイトル	秦野産の菊で庁舎を彩ります 秦野市農業協同組合花き部会露地部からの寄付
When (いつ)	10月17日(月曜日) 午前10時～
Where (どこで)	市長応接室
Who (だれが)	秦野市農業協同組合 花き部会露地部 (部員26人) 〈部長〉 柳川賢治 〈副部長〉 小川誠一、栗原昭雄 〈会計〉 亀崎善太郎、今井洋司
What (なにを)	秦野市農業協同組合花き部会露地部が市内産露地菊約500本を市に寄贈します。
How (どのように) Why (なぜ)	当日は、役員が代表して、市長に露地菊を贈呈します。 秦野産露地菊の出荷量は県内シェアの6割以上(第1位)を占め、市を代表する農産物の1つです。 露地菊をより多くの市民に宣伝し、消費拡大を図るため、贈呈された菊は、市役所本庁舎1階ロビーや公共施設に飾ります。
今後の取り組み	◇秦野市の生産状況(参考:平成17年産農林水産統計年報調べ) 作付面積 818アール、出荷量 217万本(県内シェア67.2%) ◇主な出荷先 厚木、小田原、横浜、相模原、東京、静岡、大阪の市場に出荷。 ◇毎年たばこ祭に開催する「たばこ祭露地切花品評会」での花の即売代金を市(はだの福祉基金)へ寄付。 ◇今年は、春から初夏にかけては、少雨・高温傾向に推移したため、7～8月の小菊までは開花が早まる傾向となり、逆に9月については、多雨により、全体的には開花の遅れる圃場が多かった。そのような中、病害の管理や出荷時期(天候栽培管理)の調整が難しかったが、草丈のある良質な小菊に仕上げることができた。
問い合わせ	環境産業部農産課 担当:桐山 電話0463(82)9626